

手をつなぐ
鹿島育成園だより
 夢を語り夢をかなえる

編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター
 〒314-0016
 茨城県鹿嶋市国末1539-1
 TEL 0299(82)6464
 FAX 0299(83)3261

鹿島育成園(児童寮及び育成寮)
 〒311-2401
 茨城県潮来市大賀438-4
 TEL 0299(66)3439(代)
 FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>
 mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円



8/26 夏祭り

コロナ禍の中で

園長 高橋 英一

5月上旬、仙台の特別養護老人ホームで生活していた父が亡くなりました。コロナ感染を避けるため居室の窓越しに短時間顔を見るだけで、亡くなるまでの3ヶ月はそれも制限されました。亡くなる数日前は体調も良く施設から「チョコレートを食べたいと言ってます。」と連絡が来て、鹿嶋で用意したが翌日体調が急変し旅立ってしまいました。もう少し話をしたかったと今になって思います。

当園でも色々制限は有るものの7月10日に対面による面会を実施しました。あるご父兄から「このまま死ぬまで会えないのかなあと思ってたけど会えて嬉しい。」と涙を浮かべてお礼を言われました。利用者さん達の笑顔を見ると家族の絆の大切さを改めて実感させられました。警戒を緩めるにはまだ早過ぎますが、十分な対策を講じながら心理的なケアにも一層、力を注いで参ります。



研修報告

てんかん基礎講座

育成寮 生活支援員

林 東雪

令和4年度第45回てんかん基礎講座オンライン講習を受けました。てんかんは簡単に言うるとてんかん発作を繰り返す慢性的な脳の病気です。治療には薬物療法と外科療法があります。小児のてんかんは治る病気であり、心身の健全な発達に運動経験は極めて重要です。必要以上の警戒は本人のモチベーションに悪影響を与えることが分かりました。

てんかん発作症状について情報を収集し、事前に決めた通りの介助方法を行い、状況によって臨機応変に対応することも必要であると学びました。

薬の選択時は、他の病状や、合併症・副作用などを考慮し本人に合うような薬剤を選択することは、非常に重要であることが分かりました。今後の支援に役立てたいと思いました。

障害支援担当者研修

障害者就業・生活支援センター

統括主任 荒井俊光

(独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター(以下「障害者職業総合センター」という。)主催、障害者就業・生活支援センター(以下「センター」という。)就業支援担当者研修の講師を昨年度に続き務めました。

この研修は、新規で就業支援担当者になる方に対して、社会保険労務士・大学教授・障害者を雇用している企業担当者・センター長が講師となり、コンサルテーションやスーパービジョンを伝える研修です。今回の依頼内容は「ケーススタディ(事例検討)でしたので、実際センターで支援を行った事例を通して職場定着の取組や、就業に伴う生活支援についての理解を深めて貰いました。

就業支援担当者が登録者に対する就業面での支援(就業に関する相談支援・関係機関との連絡調整)生活面での支援(日常生活や地域生活に関する支援)

企業に対する支援(雇用管理に関する助言)等を把握した上で、ケーススタディを個人ワークとグループワークで行いました。登録者のエンパワメントやストレングスを考慮した上で、就業面に関してはフォーマル(障害者雇用促進法・労働基準法・障害者総合支援法等)な支援内容で検討して貰い、生活面に関してはフォーマルな支援とインフォーマル(地域資源やボランティア)な支援を考慮して受講者自身で仮説を立て地域資源を活用した支援内容を検討して貰い、班ごとで発表を行いました。

近年センター事業では、ハブ的機能や基幹型機能が求められています。特に生活面での支援について重要視されてきている事を踏まえ、今研修では就業前後の就業に伴う生活支援を重視した内容にしました。また、エビデンスに基づき、加えてリスクマネジメントを考慮した上で支援計画書の作成が重要である事、ひと昔前の福祉的な考え(親切・丁寧)だけではなく、専門職としての理論的な考えや

最新の情報を把握した支援が必要である事を伝えました。

グループホーム

夏の一場面

7月30日に石岡市のやさと農場、行方市の観光物産展に行きました♪



かき氷最高です!

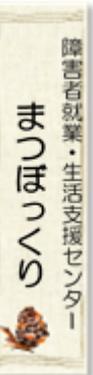


対人支援

アイリス 生活支援員

平川 順一郎

日々の活動やふれあいの中で常に考えるのは、「誰のための」「何のために」です。ルールや様々な決まりは理由があつて出来上がっています。しかし、いつの間にかルールや決まりを守ることが目的になってしまい、「何のために」が忘れられています。真の目的は「安心して暮らせる」ことであり、「楽しく過ごす」ことであるはずで、誰の人生も同じように、「人は幸せになる」ために生きています。忙しい日常生活で掃除や清掃活動をしている時、効率と結果を求めていた自分に気が付きます。その時「誰のための」が忘れられています。一番大切な目的は、「仲良く」「楽しく」です。ルールや決まりを守る事は大切です。しかし支援の目的ではありません。これからもグッペの仲間と仲良く、楽しく過ごしていきたいです。



理論と感情

就業支援担当 寺崎 有紀

障害者就業・生活支援センターにて就業している障害者の方の支援をしていく中、いつも通りのスピードで本人は業務をしていても、繁忙期になるとスピードが遅いと企業から相談される事があります。

安定的なクオリティとスピードで仕上げる障害特性の強みを理論的に説明し、企業側の理解の低下職しても、繁忙期の現場の忙しい感情的な雰囲気によって打ち消されてしまう事が多く見られます。

この様に人は理論では無く感情によって行動が生まれやすいという点から、就業支援担当として理論を芯に持ち本人に寄り添うと共に、企業側の利益追求の為の効率化に対する感情も理解した上で、福祉の理論を浸透させやすい土壌を企業に作っていくけるよう心掛けています。

グループホーム便り



主任 貝塚 卓弥

7月10日(日)にシヨッピングセンターチェリオ内にある鹿島ボウルで10代から60代の男女9名がボウリングを楽しみました。このボウリング外出を企画したのは30代の女性利用者で、メンバーの日程調整、当日のゲームプラン、ボウリング場まで行く方法など、すべて利用者同士で話合つて計画しました。天候が悪くても大丈夫のように当日はバスでチェリオまで行くことになっていましたが、平日の時刻表を見て計画したためバスが来ないというハプニングがありました。職員がバックアップできる体制になっていたのが、無事にスタートできましたが、次につながる良い経験になったのではないのでしょうか。今後もこういった機会を自分たちで作りながら地域生活をより良いものにしてほしいと思います。

絵日記

「夏休みの思い出」

児童寮 須田 光輝

昨年は、緊急事態宣言のためいろんな行事等が中止、または延期となり少し寂しい気持ちでした。でも今年は、中止や延期はなく予定通りに開かれた夏祭り、園長先生をはじめいろんな先生が計画してやってくれていたのを見て、「本当にありがたい」と思いました。夏祭りの中で一番の思い出に残ったのは魚釣りでした。45秒という時間の中で魚を釣るのがとても楽しかったです。しかも去年は着れなかったゆかたが今年は着れ、着ることができました。4年ぶりにゆかたを着れて嬉しかったです。次にある花火大会も楽しみです。





管理栄養士 数登かりん

入職して4カ月になりました。少しではありますが、休日に趣味を楽しめる余裕が出てきました。ランニングをしたり、登山に行ったりと充実しています。特に登山は大自然の中で普段見られないような絶景を見ることができ気分転換にもなっています。

私が登山を始めたきっかけは、中学生の時に初めて登った富士山でした。それまで山登りの経験など無く興味本位の挑戦でした。登るのはとても大変でしたが、山頂は息を飲むような景色が360度広がっていました。風景を見てずっと体に溜まっていた疲れが一気に無くなった事を今でも覚えています。それを機に山の魅力に惹かれていきました。今後、徐々に休日の行動範囲を広げていきたいと思っています。



退職職員



金子 俊一さん



育成寮 主任
約17年半、皆様には大変お世話になりました。自身の自己理解、人間関係の大切さについて深く学べました。皆様には健康に留意され、楽しくお暮しになられますようお願い申し上げます。



大川 芽依さん

児童寮 保育士
お世話になりました。

新任職員紹介



育成寮 調理員
大原 由美

慣れない仕事なので一日も早く覚えたいと思います。



児童寮 指導員
平山 唯

元気いっぱい頑張ります。



児童寮 指導員
岸野 愛莉紗
一生懸命頑張ります。よろしくお願います。



育成寮 生活支援員
池田 和気

一日でも早く仕事を覚えてお役に立ちたいと思います。

医務室から

看護師 渡辺 加代

この原稿を書いている今は8月の中旬です。少し前まではコロナの感染状況もやや落ち着きを見せ、育成園では対象となる方の4回目のワクチン接種も終了し、「これで少しは安心」と思っていたのも束の間、今は連日のように感染の拡大と医療の逼迫が騒がれています。誰が何処で感染しても不思議ではない状態と言ってもいい程です。

育成園でも、同居家族が陽性になったり、自身が陽性になったりで出勤出来なくなる職員も稀ではありません。近隣の施設でも同様だと聞いています。人手不足でままならない事もあります。この広報誌が皆様

寄付・寄贈・招待

- (株)リスカ 様 (茨城県)
- ソロモン商事 様 (東京都)
- キャピタランド・インターナショナル・ジャパン株式会社 様 (東京都)
- 久光製薬 様 (東京都)

行事予定

- 9月 10日 児 お月見会
- 14日 育 DVD鑑賞
- 18日 児 バーベキュー
- 10月 8日 アイリス お楽しみ会
- 未定 育 芋掘り
- 11月 13日 法人 収穫祭



編集後記

季節が移ろい、月が一層美しく見える時期となりました。日本には月を表す言葉が数多くありますが、十五夜を過ぎた後、月の出る時刻が徐々に遅くなり、まだかまだかと立って待つ月の事を「立待月(たちまちづき)」と呼ぶそうです。皆様を立て待つ程会いたい方に気兼ねなく会える日が一日でも早く来るよう願っております。(山澤)

*紙面に記載されている個人情報、ご本人または保護者様の了承を得て掲載しています。